

高松医療センター Medical News

基本理念

私達は、患者様とその御家族の立場に立った医療の推進に努めます

地域医療連携室紹介

平素より当院との医療連携におきまして、先生方にはご協力頂き誠にありがとうございます。

当院の主な診療機能は、神経難病、結核を中心とした政策医療ですが、代謝糖尿病疾患、呼吸器疾患、循環器疾患、消化器疾患、各種癌、整形外科的疾患などの一般診療にも力を注ぎ、地域医療を支える一員として微力ながら力になれるようにと考えております。

当院が行うべき地域医療には、地域の急性期医療のみならず亜急性期や回復期にある患者様の治療・リハビリテーションを行い、病状を安定させ、さらには地域社会へ帰って頂くための橋渡し役となることが含まれると考えております。このことに対応するために、当院では昨年11月より一般病棟40床を障害者病棟に移行しました。急性期の患者様は診療科にかかわらず1病棟60床の中で治療を行い、急性期治療が終わり病状を安定させた後に退院させる必要がある回復期の患者様やリハビリテーションが必要である患者様が、安心して地域社会へ戻れるための病床として障害者病床の一部をフレキシブルに活用

することにより、今まで以上に幅広く奥行きの高い医療を提供することを当院は目指しております。

地域医療の担い手になるべく努力をしておりますので、引き続きよろしくお願い申し上げます。また、当室は地域の先生方との連絡窓口としての機能も果たしたいと考えております。当院に対することでしたら診療に関すること以外でもお気軽にご連絡下さい。よろしくお願い申し上げます。



地域医療連携室長 小田 浩睦

地域医療連携室スタッフ

いつも患者様の紹介、逆紹介など医療連携にご協力頂きまして誠にありがとうございます。

地域医療連携室では本年4月より『病床調整看護師』が配置となり、入退院患者様の調整をスムーズに行い、円滑に病床利用できるよう努めて参ります。先生方からご紹介頂きます緊急入院等にも迅速に対応できる体制を整えて参りたいと思います。

また、これまで通り診察・検査予約につきましても、FAXにて承っておりますので、お問い合わせ等からでもお気軽にご連絡頂けたらと思います。

スタッフは少数ですが、元気とやる気いっぱい頑張っておりますので、今後とも高松医療センター地域医療連携室をよろしくお願い申し上げます。



地域医療連携室スタッフ

高松医療センター

糖尿病看護外来

当院では、毎週1回（偶数日の火曜日と奇数日の木曜日）に糖尿病看護外来を設けています。

糖尿病看護外来では、以下を支援の目的とし、医師・看護師・管理栄養士・薬剤師・理学療法士・検査技師が連携して、フットケアや療養指導、透析予防指導等を行っています。

- ①良好な代謝コントロールの維持
- ②合併症の発症予防と進展を抑制する
- ③セルフケアの継続
- ④患者様の行動変容を促しエンパワーメントを引き出す
- ⑤健康な方と同じように社会生活を送ることができる



フットケア

糖尿病の患者様は血糖が高い状態が続くと、足の血流障害や神経障害が進みやすく、足がしびれたり、痛くなったりという症状が出ます。また、感染を起こしやすく、傷が出来たら治りにくいということがあり、正しいケアをしていないと、足の壊疽を起こしてしまう危険性があります。



当院のフットケアでは、糖尿病足病変ハイリスク要因を有する患者様に対し、神経障害や血流障害の有無や程度を調べる簡易検査を行い、爪切りやヤスリを使った足のケアを実施しています。網膜症や白内障が進んで、目

が見えにくく足のケアが自分でやり辛いという方、水虫で爪が肥厚していて、自分ではなかなか爪切りが出来ないという方の爪切りや、たこや魚の目の処置などを行っています。また、自分で出来る足の手入れの方法や情報をアドバイスしています。フットケアを行うことで、異常の早期発見に繋がっています。



療養指導・予防指導

自己注射を実施している患者様を対象にインスリン注射や自己血糖測定の手技の確認や、食事を食べ過ぎてしまう、なかなか運動が出来ないなど日常の困っている事や悩みを聞き、一緒に考えて個々の生活スタイルに合わせた食事や運動などのサポートをしています。



じるようになった時には、すでに透析治療が必要な状況になってしまっている事もあります。定期的な採血、尿検査を実施し、将来透析治療をしなくてはならない可能性がある患者様の日常生活と一緒に見直していきます。



また、糖尿病の三大合併症である腎症を予防するため、腎症2期以上の患者様を対象に医師、看護師、管理栄養士が連携し、食事や運動、薬の指導などを行っています。糖尿病の合併症は、進行していても自覚症状がない場合や、自覚を感



私たちが担当します♪

糖尿病チーム

糖尿病教室

当院では、糖尿病で療養中の患者様をサポートする糖尿病チームが日々活動を行っています。

糖尿病チームのスタッフは、糖尿病専門医を始めとし、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、臨床検査技師、事務職員と多部門に渡って構成しており、糖尿病療養指導士の資格を持ったスタッフも在籍（看護師1名、管理栄養士1名）し、各部門と連携してチーム一丸となって患者様を支援する体制を整えています。

今回は糖尿病チームの活動の中で、毎月開催している当院の糖尿病教室についてご紹介致します。教室という講義形式が多くなりがちですが、患者様に楽しんで学習して頂けるよう毎回テーマを変え、患者様も一緒に参加し学習して頂けるような内容を企画しています。

また、教室開催時には必ず看護師が同席し、低血糖や急変にも対応できる救急セット（ブドウ糖など）を準備し、患者様が楽しく、そして安心して学べる環境づくりにも心がけています。

糖尿病カンパセッション・マップ

糖尿病患者様や家族、友人が5～10人程度のグループで話し合い、境遇を共にする患者様の知識や体験から糖尿病について互いに学び合う、糖尿病カンパセッション・マップを用いて参加者の皆さんに学習して頂いています。境遇を共にするグループでの会話を通じて、糖尿病に関する知識を整理し、糖尿病の療養に対する自らの感情を見直し、前向きな療養生活を送る目標作りのきっかけとなることを目指します。



糖尿病体験食

実際に糖尿病食を食べて頂きながら、食事療法について学習して頂いています。食事内容は各個人に合わせた栄養量で提供させて頂いています。

糖尿病の患者様が食事療法のために少し避けて通りそうな、パン食、麺類、デザートなどのメニューを実際に食べて頂き、日々の食事がおいしく、楽しい食生活が送れるような食事療法のコツを提案させて頂いています。

※食事代は1食500円



参加者の皆さんとおいしく楽しく
頂きました♪

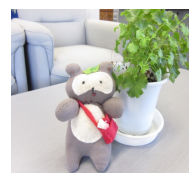


お申込み・問い合わせ

今なら『メディカルニュースを見た』と糖尿病教室のご予約を頂きました方の中から高松医療センターマスコットキャラクター『新田乙八（ニッタオトハチ）』くんを抽選で3名の方にプレゼントさせて頂きます。全て手作りですので数に限りがございます。興味のある患者様がいらっしゃいましたらお気軽にご連絡ください。

お申し込み・お問い合わせはこちらまで

高松医療センター 地域医療連携室
TEL：087-841-2162



高松医療センターマスコットキャラ
新田乙八くん♪

お申込みお待ちしております



糖尿病教室 カレンダ―

月 日	テーマ	
8月13日 (木)	飲むだけじゃダメ？正しく知ろう！糖尿病薬 (糖尿病薬の内服について)	薬剤師
11:30~ ※事前申し込みが必要です	麺類はじめました。～麺類を食べる時のひと工夫～ 体験食[麺類]付 (1食500円)	栄養士
9月10日 (木)	あなたの味付けは大丈夫？～塩分のはなし～	栄養士
13:30~ ※予約なし・当日参加OK	糖尿病、血流と腎臓障害	臨床検査技師
10月15日 (木)	皆で考えよう！シリーズ③～食事と糖尿病～	栄養士
13:30~ ※予約なし・当日参加OK	体をむしばむのは ぶどう糖？	医師
11月12日 (木)	風邪・インフルエンザに負けないために！！ (シックデイ)	看護師
11:30~ ※事前申し込みが必要です	ご飯は白くなくてもいい！ ～味付けご飯のひと工夫～ 体験食[味付けご飯]付 (1食500円)	栄養士
12月10日 (木)	何食べよう？ ～年末年始の食事のコツ～	栄養士
13:30~ ※予約なし・当日参加OK	生活に運動を取り入れるコツ♪ ～血糖との上手な付き合い方～	理学療法士
1月14日 (木)	2016年 新しい自分に！ ～食生活 できることから始めよう～	看護師
13:30~ ※予約なし・当日参加OK	糖尿病、血流と神経障害	臨床検査技師
2月4日 (木)	自分のからだをよく知ろう！ (糖尿病の自己管理)	看護師
11:30~ ※事前申し込みが必要です	バレンタインがやってくる！ ～デザートの一工夫～ 体験食[デザート]付 (1食500円)	栄養士
3月10日 (木)	皆で考えよう！シリーズ④ ～食事と薬～	栄養士
13:30~ ※予約なし・当日参加OK	インスリン、それだけじゃない注射薬 (糖尿病の注射薬について)	薬剤師



独立行政法人 国立病院機構
高松医療センター
〒761-0193
香川県高松市新田町乙8
TEL:087-841-2146 FAX:087-841-2178
URL:<http://www.hosp.go.jp/~takamath/>

編集後記

今年も当院正面玄関前にオーシャンブルーによる緑のカーテンを栽培中です。またオーシャンブルーの両隣にはゴーヤによる緑のカーテンも栽培中です。当院お立ち寄りの際にはぜひご覧下さい。

発行責任者:病院長 細川 等 編集責任者:地域医療連携室